

福井大学学術協定校への派遣留学(交換留学)月例報告書(5月分)

留学先大学:漢陽大学校

氏名:齊藤杏菜

こんにちは。漢陽大学校に留学させていただいている齊藤杏菜です。5月に入って30度を超える日が多く、本格的に夏の気候になってきました。今月は韓国語の授業の中であったイベントと、私の留学生活の中で大きな存在となったサークル活動について書きたいと思います。

● 韓国語の授業について

今月も引き続き韓国語の授業がありましたが、その中で特別な出来事があったので紹介します。1つ目はクイズ大会の手伝いです。私は今4級のクラスで韓国語を勉強しているのですが、授業の中で先生から「2級のクラスのクイズ大会の手伝いをしてみないか。」という案内がありました。私はぜひ参加してみたいと思い、同じクラスの友達と一緒に参加してきました。手伝いの内容は簡単なものでしたが、2級のクラスではどのように勉強しているのかを見ることができ、自分自身も勉強になりました。

2つ目は発音の授業です。これも授業の中で先生から案内がありました。先生1人と生徒2人で行う授業でした。交換留学生の韓国語の授業(Intensive)は午後なので、発音授業は午前の時間帯から選択できます。受けられる生徒数も少なく、先着順なので申請の時間よりも早く行って準備しておかなくてはなりませんでしたが、第一希望の時間ではありませんでしたが、何とか申請できました。授業では細かい発音の決まりや、文章の中でのイントネーションなど細かく見てもらいました。1時間の授業が2回あったのですが、最後の授業で個人的にどの発音が苦手だからそこを集中的に練習すればうまくできるようになるよ、とアドバイスをいただきました。また、単語単語で練習するよりも文章で練習した方がいいとのことでした。2回しか授業がなく、その間で上達することは難しいですが、2人しか生徒がいない中で先生が丁寧に見てくれて、今後の発音の練習方法についてもアドバイスをくれるので、もし関心がある方がいればこの授業を聞くことをお勧めします。

- サークルについて

私は去年の9月から漢陽大学での留学を始めたのですがその頃にダンスサークルに加入しました。加入する際に「サークル活動は全て韓国語で行うので韓国語ができなければ難しいかも…」と言われましたが、韓国語の実践の場が欲しかったので加入しました。私は韓国語は日本で少し勉強して基礎の基礎しか分からない状態だったので、正直初日はみんなが何を言っているのかほとんど分かりませんでした。それでも秋学期は自分たちが1番下の代で運営する先輩がいたので、普段の練習に参加したりオーディションを受けたり小さな公演をしたりするだけだったので、何とか大丈夫でした。しかし、3月から先輩が引退して私たちが運営をする代になりました。それに伴ってこれからの方針を決める会議が多くあったり、公演の準備などを主体的にしなければいけなかったので大変でした。5月末にそのサークルの年に2回行う定期公演(1学期と2学期)の1学期定期公演がありました。その準備を通して同期はもちろんのこと、先輩や後輩ともたくさん話す機会があり、親しくなるいい機会になりました。

その公演が私のそのサークルでの最後の公演でした。公演の後に同期たちと一緒にご飯を食べる約束をしていたのですが、その日、もうすぐ帰国しなければならない私達にサプライズパーティーをしてくれました(もう1人今学期で帰国する日本人がいました。)

約1年このサークルで活動してきて、目的であった韓国語も最初に比べればだいぶ上達したのではないかと思います。このように、授業で習ったものをすぐに実践でき、分からないことがあればネイティブの人にすぐに質問できる場があったことが本当に良かったと思います。上手く伝わらなかつたり聴き取れなかつたりもどかしいことはたくさんありましたが、今では大体分かるようになりスムーズにコミュニケーションが取れるようになりました。また、言語面だけでなく、留学生活をする中で勉強以外の場があることでストレスを解消できることもあります。また、いい友達もできて、嫌なことがあってもサークルに行けば気持ちが晴れることもありました。

外国語でサークルに所属することは少し勇気のいることだとは思いますが、思い切って入ってみることをお勧めします！



上の3つは5月末の定期公演の時の写真です。

下の2つはサプライズ送別会を開いてくれた時の

